

## 1 はじめに

生きる力を育むために、表現力、判断力、思考力の育成を掲げた学習指導要領が告示されて7年になる。本校の大きな教育的課題は「島立を見据えた生徒の育成」であると考え。早ければ中学校卒業後に、その他のほとんどの生徒も高校卒業後にそれぞれの夢実現へ向けて島立する時を迎える。必ずしも「島立＝夢実現」ではない。生徒たちは大きな希望と期待を胸に、夢実現に向けて島立をする。親元を離れ、自分の力で夢を切り拓いていくことは容易ではない。社会の荒波にもまれながら、自分の夢を見失うことなく努力を続ける力こそ、生きる力であると考え。本校では、生きる力を育むために様々な教育活動を展開している。その中で、昨年度からN I E（教育に新聞を）の実践指定校の指定を受け、今年度までの2年間様々な活動を展開してきた。

## 2 取組の実際

### (1) N I E 掲示板の開設

まずは生徒たちに新聞に対する興味を持ってもらうために、校長室前の掲示板上にN I E 掲示板を開設した。新聞の構成や読み進め方を紹介し、生徒の興味のある記事や話題となっている記事を教師が選び毎日更新した。さらに最新の1面トップ記事コーナーを設置し、N I E 用として届く新聞の1面記事を掲示。新聞社によって一面記事の内容が異なることや、記事の取り扱い方に差があることを示し、生徒たち



NIE 掲示板

の興味を沸き立たせる工夫を行った。また、掲示した一面トップ記事は、月ごとのファイルを作成し、自由に閲覧できるようにするとともに、学級でのN I E 活動に活用できるように保管した。1学期の間は、この活動に加え、コラムや社説、同年代の若者の投稿記事の掲示活動を主に展開し、生徒たちの新聞に対するイメージを変える活動に重点を置いた。

### (2) 学級での取り組み

N I E 掲示板の設置から暫く立つと、掲示板の前で生徒たちが新聞記事を興味深そうに眺めることが多くなってきた。次の活動として、生徒たちの視点での新聞記事スクラップ活動を始めた。最初はニュースで大きく取り上げられている記事をはじめ、スポーツ記事や芸能記事、地域の記事などに生徒たちの興味は偏っていた。自分の考えを書くように指導したところ、様々な視点からのスクラップが出てきた。また、学校での生命尊重重点週間の取り組みが行われると、生命尊重に関するスクラップ記事が多くなるなど、学校での教育活動がスクラップ活動にも顕著に現れることが分かった。

#### ア. 1分間スピーチの取り組み

N I E の実践校になり、1年目の2年生の学級では、南日本新聞に掲載されている投稿記事「若い目」の中学生の投稿を読み、その題と同じ題で100字作文を書いて発表することを実践した。この取り組みにより、日直になると必ずN I E コーナーに目を向けることになり、新聞記事に対する意識付けをすることができた。

## イ. コラムの発表

次の取り組みは、毎日のコラムを読むことであった。N I E用として届けられる新聞のコラムを毎日発表させた。中には難しいことばや漢字が並ぶこともあり、生徒たちは何度も読む練習をしてから1分間スピーチに臨んだ。文章が比較的長いため、文章の構成を考え、伝えたいことが変わらない範囲で要約することもできるようになり、最初の頃は時間がずいぶんとかかっていたが、慣れてきてスムーズに読むことができるようになった。コラムには、難しい内容を扱っているものから、各界の著名人や芸能人、四季の話題等の身近な題材を扱っているものまであり、ただ新聞は難しいと敬遠していた意識を緩和する効果があった。

## ウ. スクラップ活動との連携

3年生に進級して、スクラップ活動と連携したスピーチを始めた。毎日の帰りの会で、前日の新聞記事から学級全体に紹介したい記事を探してスクラップし、発表する活動を行った。学級全員の前で記事を紹介することで、発表することに対する苦手意識を取り除き、自分の考えを述べることで表現力と思考力が身につくと考えた。周囲との連携を図るために、ワークシートの最後に翌日の日直からコメントをもらい、そのコメントの発表までしてもら



うところまでを行った。発表後の級友からの拍手は自己有用感を高める効果があるが、自分の選んだ記事やコメントに、友人が感想を書いてくれることで、さらに自己有用感を高めることができたと考える。友人にコメントをもらう活動を取り入れてから、休み時間等にみんなで新聞を囲む光景が見られるようになった。

## (3) 授業実践

### ア. 新聞の構成と読み進め方

新聞記事のタイトルをクイズの穴埋め形式にして、1ヶ月分の新聞からグループで答えを探す活動を行った。多くの情報の中から目的の記事を探すことは大変な作業だったようだが、グループ内で楽しく取り組む姿が見られた。



### 生徒の感想より

N I Eという文字を教室の後ろや掲示板で見た。それが何なのか想像もつかなかったが、今日の授業で少し理解できたと思う。見出しだけでこんなに印象が変わるんだなとか、同じ内容のことでも新聞によって大きさが違い、新しく発見できたことばかりだった。インターネットが主流になっている今だからこそ、新聞を読むのはとても新鮮で、とても大切なことだと思った。

## イ. 生命尊重重点週間の取り組み

生命尊重重点週間の取り組みとして、新聞記事を活用した生命尊重授業を行った。生命の大切さを感じさせる新聞記事のタイトルを集めてDVDムービーを作成し導入段階で使用。新聞記事をただ提示するのではなく、ICT機器を活用することで、生徒たちの興味・関心を引き出すことができた。生命尊重に関する様々な考えについて意見交換させた後、グループに1ヶ月分の新聞を準備し、その中から生命尊重について考えさせられる記事を探し、書画カメラを使って一人一人に発表させた。いじめや交通事故、殺人事件等の紹介が多いと予想していたが、予想を覆す発表が相次いだ。以下にいくつかを紹介する。

使用した新聞記事	生命尊重に関する意見
スポーツ選手の写真記事	自分たちに、夢を達成する意欲を沸かせてくれる。
旅行広告記事	くよくよ悩まないで、行ってみたいと思わせてくれる。
動物園の記事	動物たちもせいっぱい生きている。
おばあちゃんの笑顔の記事	人の笑顔は最高だ！

帰らぬ人へ

交通事故 79人犠牲  
品川区 08年に次ぐ最多ペース

NIE活動を続けていく中で、思考力と表現力が確実に培われていると感じた。

### 生徒たちの感想から

- ・ 今回の授業で改めて命の重さが分かった。みんなとてもいいことを発表していた。これからは常に命の重さを忘れないで生活していきたい。
- ・ 一人一人、いろいろな記事を取り上げていてとてもいいなと思いました。生命尊重とはただ命を大切にするというだけではないんだなと思いました。人が亡くなってしまった記事だけではなく助けた人や頑張っている人の記事もあってとてもいいなと思いました。

## ウ. 作文投稿指導

NIE実践の1つとして、南日本新聞ひろばコーナーの「若い目」への投稿に取り組んできた。今年度から新たに設けられた「若い目賞」を8月に受賞することができ、生徒たちの自信につながっている。また生徒の喜びも大きく、何より保護者の喜びの大きさに驚いている。



### 保護者の声

- ・ 自分の子どもが、これだけの作文を書くことに驚きました。
- ・ とてもいい記念になります。御指導ありがとうございます。
- ・ 鹿児島にいる祖母からすぐに連絡がありました。祖母も涙を流して喜んでくれたようです。ありがとうございました。

また、新聞掲載を読んだ、以前与論に勤務していた方から生徒宛に激励の手紙が届いたこともある。新聞の力の大きさに改めて気づかされた瞬間だった。

### 記事スクラップ

与論中3年

阿野 璃子

今私は学校で新聞記事のスクラップ作成をしています。最初、先生にすすめられたときには「新聞は普段触れないし、めんどくさそうだな」と思っていました。テレビやインターネットで見た方が早そうだし楽だと思っていたからです。

スクラップを始めて、自分の知りたい記事が意外とたくさんあり、ページをめくるときに新聞のおもしろさを感じるようになりました。

同じニュースでも新聞社によって違いがあることもおもしろいと感じ、テレビで知ったニュースを

新聞であらためて読んでみると、ニュースでは伝わらない細かいところまで書いてあり、より深くそのニュースについて知ることが出来ます。

スクラップを通して、新聞に毎日触れるようになりました。まだ始めて間もないですが、さまざまな角度から「今」を見ることができるようになったと思います。毎日続けることは大変ですが、自分の成長につながっていると感じています。

スクラップファイルもどんどん増えてきて、達成感も感じるようになりました。これからも頑張ってスクラップをしていき、いろいろな方向から物事を判断することができる大人になっていきたいと思っています。(与論町)

↑ 平成27年5月4日(月)掲載

新聞から得るもの  
与論中3年  
市山日南子

私の学級では今年、新聞記事を使ったリレーを毎日してきました。私はこれまで新聞にあまり興味がなかったが、この1年間の活動を通して新聞を読むことが増えた。

先日、一つの記事を見て驚いた。それはフランスで起こった同時多発テロの記事。パニックになって逃げ惑う人々、死者もたくさん出た。特に驚いたのは自爆テロだ。

たった一つの、かがげえない命。自分からその命を絶つことは考えられない。

の誘いで新聞のスクラップ活動をするようになりました。自分を成長させるチャンスだと思つて挑戦しましたが、始めたころは面倒くさいとばかり思っていました。

しかし、今では挑戦して良かったと思うようになりました。事件やニュースなどの時事問題について友

なく、もつといろいろな情報を知りたいです。私にはまだはっきりとした夢がありません。スクラップ活動を続けていく中で、世の中のさまざまな出来事をたくさん学んで夢を見つけ、夢をかなえるために頑張っていきたいと思

興味のある記事だけでは

↑ 平成27年9月7日(月)掲載

平成27年12月2日(水)掲載 →

### 3 研究のまとめ

#### (1) 研究の成果

NIE実践校として指定を受けて2年目の2学期末に継続して取組を実施した学級でアンケート調査を行ったところ、以前より新聞に興味が出てきた、新聞を読むようになったと答えた生徒は21名中20名と驚異的な数字となった。実践前の意識の低さがあることと、どれくらいの頻度で新聞に触れているのかが不明なため一概に判断することはできないが、一定の効果はあったと考えられる。

#### (2) 研究の課題

この2年間の取り組みにより、新聞には大きな教育的な効果があると確信を得た。新聞に関心を持つことができるだけでも国際社会や日本国内の動きに敏感になることができる。インターネットで得られる情報と大きく異なることは、その記事の近くに掲載されている情報まで目に入ってくることである。さらに、読書離れが進んでいることが危惧されて久しいが、活字に触れる貴重な時間にもなりうる。

今年度の実践は、1年目の教師主体の取り組みから有志の生徒を巻き込んだ活動へと発展したが、さらに職員の共通理解を図り、誰でも気軽に、簡単に教育に新聞を活用していくことができる体制づくりの必要性を感じている。様々な教育活動は、すぐに効果が現れないものが多い。継続的に、そして工夫と改善を繰り返しながら学校全体で取り組んでいく必要がある。